

議会のあり方調査特別委員会 広聴検討分科会 記録

開会年月日	平成 28 年 8 月 16 日
開会時刻	午後 0 時 59 分
閉会時刻	午後 1 時 32 分
出席委員名	◎宿 典泰      ○野崎 隆太      上村 和生      野口 佳子
	黒木騎代春      西山 則夫      浜口 和久      工村 一三
	世古口新吾
	中山 裕司 議長
欠席委員名	—
署名者	—
担当書記	山口 徹
協議案件	・ 検討項目の確認
	・ 開催予定について
説明者	議会事務局 山口調査係長、中野主事

## 会議の概要

宿分科会長が開会を宣言し、直ちに会議に入り、最初に当分科会の検討項目の確認と「議会アンケート」実施への取り組み、及び今後の分科会の開催予定について協議し、分科会を閉会した。

## 協議の内容

### 1 検討項目の確認

先の議会のあり方調査特別委員会の企画調整部会において、広聴検討分科会の検討項目が下記のとおり確認されたことを報告し、当分科会全委員の確認を得た。

#### 広聴検討分科会の具体的な調査・検討項目

- 「議会アンケート」、「広聴機能のあり方・仕組みづくり」
- 「議会報告会・意見交換会」、「その他広聴に関すること」

### 2 開催予定について

今後、上記調査・検討を行なっていくうえで、分科会の開催スケジュール等について、下記のとおり協議を行なった。

#### スケジュールの課題

- ・議員の任期が来年11月までで、9月定例会前の来年8月末には一定の検討を終えたいことから、検討項目の調査・検討順序について、早急な協議が必要。

#### 各検討項目の課題

##### 議会アンケート

- ・アンケートの実施方法、実施時期（できれば11月末までに実施）。
- ・アンケート内容の検討から回答データをまとめるまで約3ヶ月必要。

##### 議会報告会（意見交換会）

- ・以前実施した議会報告会と同様なやり方ではなく、対象や実施体制の検討が必要。
- ・選挙権の引き下げもあり、高校生等若い世代との意見交換会を実施検討。
- ・議会活動として取り組む広聴機能のあり方、制度構築の検討が必要。

以上の内容について、宿分科会長から説明提案があり、今後の当分科会における開催予定として、まず広く市民の声を聴く広聴活動として、議会アンケートの実施に早急に取り組み、設問の素案を次回の分科会までに事務局の方で準備することとなった。

また、議会報告会については、以前実施された中学校区毎の一般市民対象というやり方ではなく、今年7月に実施した商工会議所との意見交換会のように、相手先を決めテーマを絞るなど実施手法を検討すること、さらに高校生等若い世代との意見交換会についても、前向きに検討することを確認し、閉会した。

上記署名する

平成28年8月16日

分科会長